

令和5年度 前期 学校自己評価のお知らせ

保護者の皆様へ

これは、前期に行った「学校自己評価」の結果です。学校自己評価とは、教職員自身が、学校教育目標の達成状況や教育活動の実施状況を評価するものです。その際、評価の客観性を増すために、「児童アンケート」や「保護者アンケート」の結果も参考にします。「教職員の自己評価」と「児童アンケート」そして「保護者アンケート」の結果と考察を掲載しています。これらの評価の結果をふまえて、学校改善に向けた今後の教育活動を進めていきます。

お時間があるときによくお読みいただき、本校の教育活動に対して御理解いただきますとともに、今後も御協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

糸島市立前原小学校
校長 石硯 昭雄



糸島市立前原小学校

【評価方法】

4段階 4:よくできている 3:だいたいできている 2:できていないときの方が多い 1:できていない

【本校の教育目標】

まごころで学び、えがおでふれあい、ねばりづよくがんばるこどもの育成

【本年度の重点目標】

自らのよさを発揮し生き方を豊かにするこどもの育成 「自己実現力」の育成

	質問項目		児童	教員
まごころで学ぶ子ども	①	「めあて」を自分でつくったり、見通しをもって考えたりすることができましたか。	3.31	2.78
	②	先生の力をかりずに、自分たちだけで15分以上話し合うことができましたか。	3.09	2.11
	③	自分の考えを書いて、学習をふり返ることができましたか。	3.36	2.30
	④	ミライシードで、苦手(にがて)な問題に取り組んだり、新しい問題に挑戦したりできましたか。	3.34	2.84
	⑤	タブレットを使って意見を出し合ったり、タブレットで自分の考えをまとめたりすることができましたか。	2.89	2.00
えがおでふれあう子ども	⑥	友だちのよさを進んで見つけようとしていましたか。	3.25	2.70
	⑦	命の大切さを考えたり、思いやりのある行動をしたりすることができましたか。	3.56	3.00
	⑧	学校のきまりを守ることができましたか。(名ふだ・遊び場・時間など)	3.44	2.86
	⑨	自分から進んであいさつをすることができましたか。	3.44	3.11
	⑩	学校や学年・学級をよくするための話し合い活動で進んで考えを出せましたか。	3.18	2.35
ねばりづよくがんばる子ども	⑪	時間いっぱい、すみずみまでそうじができましたか。	3.61	2.95
	⑫	給食(きゅうしょく)の後(あと)かたづけをきちんとすることができましたか。	3.75	3.22
	⑬	めあてをもって体を動かすことができましたか。(朝のスッキリ体そう、短なわけんてい など)	3.46	2.81
	⑭	「ゆめかなえノート」で、自分の成長(せいちょう)やがんばりをふり返ることができましたか。	3.43	2.86

【全体考察】

- どの項目についても、教員の評価に比べて児童の評価の方が高くなっています。これは、子ども達が一つ一つの活動に目標やがんばっているという意識をもって取り組んでいることの表れであると考えます。一方、教員は児童への期待が大きく、「もっとできたのでは」という思いが大きいいため、児童に対して評価が低くなっているのではないかと考えます。ただ、児童の中で評価の高い項目は、教員の中でも評価が高く、その逆も見られます。このことから、児童と教師の評価はほぼ一致していると考えます。このことから、日々の教員の指導や評価が子ども達の達成感に大きく影響していることが分かります。今後も、子ども達に指導するときには具体的に課題や成果を示し、励まし、支援していくことが大切だと考えます。

【まごころで学ぶ子ども】

- 児童評価では、③「自分の考えを書いて学習をふり返ることができた」が最も高い評価となっています。この内容は、昨年度、力を入れて指導したことの一つです。全学級で学習をふり返る時間を設定した授業を行ってきました。その成果で、子どもが自信をもったのだと考えます。
- ②「先生の力を借りずに、自分たちだけで15分以上話し合うことができたか」については、これは、今年度本校が授業づくりで最も力を入れている部分です。児童評価も教員評価も高くはありませんが、顔を上げて友達と意見を伝え合うことで考えを広げたり深めたりする授業を行い、児童の表現力と思考力を伸ばしています。
- ⑤タブレットを使った授業については、児童評価も教員評価も低く、課題です。④の質問と関連づけると、タブレットのドリル的な活用はできているが、授業中の交流等では十分に活用できていないということだと考えられます。授業の中で全体の考えを交流する場面では、毎回タブレットを使って示すようにするなど、タブレットを使って自分の考えを示す、友達の考えを見る、といったことに慣れさせていくことが必要だと考えます。児童にタブレットを文具の一部としていつでも使うことができるように活用の場面を増やしていきたいと考えています。

【えがおでふれあう子ども】

- ⑦「命の大切さを考えたり、思いやりのある行動をしたりすることができる」は、児童も教員も最も高い評価になっています。これは、前期前半で児童会活動（ブロック開き）や異学年活動（遠足、体力テスト、掃除など）を仕組んだことも大きいのではないかと考えます。もちろん、学級の中では、常時ふり返りの活動を設定し、互いの活動や行為のよさについては伝え合うようにしています。こういったことにより、児童も、「思いやり」についての意識が身に付いているのではないかと考えます。ただ、問題のある行動をしてしまうことは誰にでもあります。また、人権に関わる問題も多様化しています。そういったことも状況に応じてまたは計画的に取り上げ、児童に考えさせ、指導をし、子どもの人権意識を磨いていく必要があります。
- ⑩「学校や学年・学級をよくするための話し合い活動」についての評価は、教員も児童も評価が最も低かったです。これは、個々の意見が反映する話し合い活動の仕組みが十分ではなかったのではないかと考えます。今後は、個々が意見をもった上で話し合い活動を行うこと、ICTを活用したり交流の仕方を工夫したりして、個々の意見や考えの立場を活かせる話し合い活動を推進していきたいと考えます。

【ねばりつよくがんばる子ども】

- ⑫「給食の片付け」については、児童も教員も評価が高かったです。子ども達は、毎日丁寧に後片付けをしています。食育についてですが、学校では、子ども自身に食べる量を調整させています。苦手な物についても、自分なりの目標を決めさせています。給食は、お子さんによっては登校のモチベーションにもなっていますし、その逆もあるようです。御家庭でも給食について話題にされ、お子さんが給食を楽しめているか聞いてみてください。
- ⑭『「ゆめかなえノート」で、自分の成長やがんばりをふり返ることができましたか』については、児童の評価が低いです。ただ、昨年度末（3. 40）と比べると、少し評価は上がっています。子ども達は、自分のがんばりを「ゆめかなえノート」に自己評価しています。そのがんばりを子どもに一番身近な家族や担任が賞賛と励ましの言葉をかけることで、子ども達は達成感を味わい、またがんばろうという気持ちをもつので、今後も保護者の皆様と一緒に取り組んでいきたいと考えます。自己実現の積み重ねの記録を、子ども達の自信につなげたいと考えます。

保護者評価（アンケート）の結果について

1. 実施期間 令和5年7月12日（月） ～ 令和4年7月20日（火）
2. 配布数 572
3. 回答数 431 75 %
4. 評価 4段階（4：よくできている 3：だいたいできている 2：できていないときの方が多い 1：できていない）

項目	番号	お子様の姿・学校の姿	結果	評価内訳（人）				
				4	3	2	1	
授業	①	子供たちは、よく発表をしたり、自分の考えを書いたりすることができている（意欲的に、学習に参加している）。	3.54	178	129	4	2	
	②	子供たち一人一人がよくわかる、できるために、授業が工夫されている。	3.44	146	162	3	1	
	③	子供たちの教室は、整然としていて、学習に適した環境になっている。	3.60	190	120	3	0	
ゆめかなえ学習	④	「ゆめかなえ学習（家庭学習）」の宿題が「よい」と感じる点は、どんな点ですか。（人）						
		ア 子どもが自分で取り組める		41				
		イ 勉強に楽しく取り組んでいる		2				
		ウ 将来に必要な学力が身に付く		5				
		エ 自分で決めたり、実行できたりする力が身に付く		66				
		オ 家庭学習の習慣が身に付く		31				
		カ 子どもの興味のあることやよさを引き出す		14				
		キ よい点は特いない		21				
		ク その他		1				
		⑤	「ゆめかなえ学習（家庭学習）」の宿題が「よくない」と感じる点は、どんな点ですか。（人）					
			ア 何をするか自分で決められない		46			
			イ 時間がかかってしまい、大変そう		31			
			ウ 必要な学力が身に付かないと思う		10			
			エ 調べるための本や資料がない		12			
			オ 家庭学習の習慣が身に付かない		1			
			カ 子どもの興味やよさが生かせない		7			
			キ よくない点は特いない		197			
		ク その他		17				
宿題	⑥	お子さんの宿題の内容は、お子さんにちょうどよい。	3.88	339	6	18	0	
	⑦	お子さんの宿題の量は、お子さんにちょうどよい。	3.77	308	27	28	0	
生活	⑧	子供たちは、友達のよいところによく気づいている。	3.11	70	263	29	1	
	⑨	子供たちは、学校で掃除の取組をしているので、家庭でも身の回りを片付けたり、進んで掃除をしたりすることができている。	2.38	20	149	143	51	
自己実現力	⑩	子供たちは、学習や生活などいろいろな場面で目標を決めることができている。	2.82	39	227	88	9	
	⑪	子供たちは、自分が決めた目標に向かって最後まで諦めずに取り組むことができている。	2.96	64	228	62	9	
学校からの情報	⑫	各学級・学年から通信を発行したり、連絡帳でお伝えしたりしているので、子供たちの学校での学習や生活の様子がよくわかる。	3.12	95	222	42	4	
	⑬	学校は、学校の方針や取組の予定などを保護者にわかるように発信できている。	3.17	94	239	29	1	

保護者評価考察

【授業について】

- どの評価項目も高い評価でした。子どもの学びに向かう姿を評価していただき、大変うれしく思います。今年度は、友達と意見を交流しながら自分の考えを確かなものにする授業を目指しています。そのために、座席の配置を工夫したり、全員が交流に参加できるよう書く活動を重視したり、交流の仕方を工夫しています。今後も、一人ひとりの児童の思考力・表現力を伸ばす授業を行っていきます。
- 自由記述では、「授業中の教員の言葉が難しく感じた」、「児童によって理解度に差があることを感じた」という御意見をいただきました。真摯に受け止め、児童の発達段階や実態に応じた言葉で授業を行っていきます。また、児童によって理解に差があることは当然と考えます。十分に操作をしたり考えさせたりして全員がわかる授業をすること、児童のふり返りの記述等から理解度を確認することを通して、どの子も学力が身に付くように指導を徹底します。

【ゆめかなえ学習について】

- 多くの回答をありがとうございました。「ゆめかなえ学習」については、よさを感じてくださっている御意見の方が多かったです。その多くは「自分で取り組める」「自分で決める力が身に付く」というものでした。ただ、「学力が身に付く」の項目が低いことは課題と考えます。学校では、子どもに自分の学習課題を把握させて課題解決をし、学力向上につながる家庭学習を目指しています。今後、学力向上につながる「ゆめかなえ学習」を充実させるために、授業のふり返りやタブレット内のスタディログを活用するなどしていきます。このことにより、「何をするか自分で決められない」という点も克服していきます。

【宿題について】

- 宿題は内容も量もちょうどよいようです。今年度は、どの学年も「音読」の宿題を出しています。「音読」は、文章の内容理解だけでなく、文章表現の素地（主語・述語の関係、一文の長さの感覚など）の育成にもなります。高学年こそ、くり返し音読をすることが文章表現力の向上につながると考えています。お時間のあるときには、ぜひ御家庭で聞いて、評価をしてくださいますようお願いいたします。

【生活】

- 身の回りの整理整頓や掃除についての項目が低いです。児童は、学校では掃除にがんばっていると感じ評価しているので、残念に思いました。PTAと連携をしたり、学級活動や生活科、家庭科などに関連して、家での実践力も高めていけたらと思います。

【自己実現力】

- ⑩「目標を決める」については昨年（2. 37）と比べると伸びています。また⑪「あきらめずに取り組む」についても昨年（2. 87）と比べると伸びています。これは、「ゆめかなえノート」を保護者の方が御覧になって、お子さんのがんばりを見てくださっているためと考えます。お忙しい中、本当にありがとうございます。
- 「ゆめかなえノート」については、「毎週、目標を決めるのは負担だ」という御意見がありました。学年や学級、個人によっては、そのときそのときのみんなで取り組んでいることに関わるものでもよいし、何周か続けて同じ目標でも構わないと思います。大事なことは、「目標に向かって今日はこれができた」「今日はできなかったから明日はやってみよう」という意識の積み重ねです。「自分もやればできるんだ」という経験が自己実現力の素地になるので、学校でも支援をしていきますので、御家庭でも引き続き励ましの言葉かけをお願いいたします。

【学校からの情報】

- 学校からの情報については、昨年度（⑫2. 92 ⑬3. 05）よりも評価はよくなりました。自由記述では、紙媒体よりも電子でのお知らせがよいとの御意見が多くありました。今後検討したいと思います。また、白黒よりもカラーで印刷してほしいという御意見もいただきました。これについては、予算の関係がありますので、難しいです。なお、学校だよりについては、カラーのものをホームページに掲載していますのでよろしければ御覧ください。